

# 平成30年度 いばらき輝く教師塾

期 日:第1日 9月29日(土)

会 場:茨城県教育研修センター

## いばらき輝く教師塾開講式



開講式の様子

平成30年度いばらき輝く教師塾は、285人の塾生を迎え、9月29日(土)に開講式が行われました。

開講式の茨城県教育庁学校教育部長挨拶では、森作 宜民 学校教育部長から、「いばらき輝く教師塾の特徴は、本県の教員を目指している方と現職の若手教員とが共に実践的・体験的な学びができることである。共に学ぶ仲間と積極的に交流し、主体的に研修に参加し、多くのことを学んでほしい。」と挨拶がありました。

## 茨城県教育庁学校教育部長講話



茨城県教育庁学校教育部長  
森作 宜民

### 【要旨】

- ・教師という仕事の魅力は、子どもたちが大きく成長する時期に関わり、一緒に喜んだり、笑ったり、悲しんだりしながら共に成長できることである。
- ・子どもたちには、変化の激しい社会に対応する力を身に付けさせる必要がある。教師自身も変化を受け止め、その中から課題を見付けたり、解決したりするなど、変化に対応できる力が求められている。
- ・「先生」と呼ばれることには、喜びや誇りを強く感じる。子どもたちへの愛情、情熱、責任があるからこそ、「先生」と呼ばれることに喜びや誇りが生まれるのではないかと。

## 特別講演会

「社会人として、教師として、人々の成長を願う。」



茨城トヨタ自動車株式会社  
代表取締役社長 幡谷 史朗 氏

### 【要旨】

- ・学校の主役は、子どもたちだけでなく、保護者、先生が三位一体となって頑張ることが大切である。
- ・笑顔には、明るい気持ち、気持ちを楽しめる効果があり、笑顔が笑顔の連鎖を生み、職場環境がよくなる。
- ・子どもの教育とは、すぐに結果が出るものではない。教師の仕事は、子どもの教育に見返りを求めてはいけない。

## 塾生のアンケートより

### 特別講演会「社会人として、教師として、人々の成長を願う。」の感想

- ・「笑顔」の大切さを実感した。私も子どもたちの笑顔を大切にしたい。【若手教員】
- ・「なぜ、学校でいろいろな科目を習うのか」について、各教科で培われる能力を説明していただき勉強になった。【若手教員】
- ・教師という仕事は見返りを求めてはいけなくて、すぐに結果が出なくても、子どもたちに尽くす仕事であるということを知ることができた。【学生】
- ・社会で働く上で「誰かの役に立ちたい」という思いが欠かせないことを学んだ。【学生】
- ・教師のはたらきかけが、数年後、数十年後に生徒の気づきになると聞いて、教師の影響力はとても大きく、責任のある仕事であると思った。【学生】

### 本日の感想

- ・なぜ「教師」になりたいのかということについて、改めて考える機会になった。【学生】
- ・教師塾を通して、教師という職業についてだけでなく、自分自身とも向き合い、人として成長できるように頑張りたい。【学生】
- ・子どもたちと共に成長し、高め合うことができるのは、教師という職業のよさであると思った。【学生】
- ・教師塾の講義やワークショップを通して、同じ志をもった人たちと関わりながら、互いに高め合いたいと思った。【学生】
- ・教師は、子どもたちに見返りを求めずに愛情を注ぐことが大切であるということを確認することができた。【若手教員】
- ・教師は、人の一生に関わる責任のある職業なので、学び続ける姿勢を大切にしたいと思った。【若手教員】